

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 ブックオフコーポレーション株式会社
 コード番号 3313 URL <http://www.bookoff.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 佐藤 弘志
 (氏名) 松下 展千

TEL 042-750-8588

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	16,914	30.3	588	161.2	681	153.0	168	—
21年3月期第1四半期	12,979	—	225	—	269	—	△86	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	9.44	9.43
21年3月期第1四半期	△4.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	35,046	11,722	33.0	645.31
21年3月期	34,697	11,813	33.6	651.82

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 11,568百万円 21年3月期 11,659百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	18.00	18.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	34,000	28.3	700	75.9	800	62.3	0	—	0.00
通期	70,000	15.7	2,700	10.9	2,900	8.5	1,200	17.2	67.09

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は、6ページ【定性情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	19,473,200株	21年3月期	19,433,200株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	1,546,058株	21年3月期	1,546,058株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	17,888,988株	21年3月期第1四半期	17,793,897株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関する事項に関しては6ページ【定性情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社は「ご家庭で不要となったものを、新しい持ち主のために役立てる」という「リユース事業」を中核事業として、書籍やCD、洋服やスポーツ用品、子供用品など様々なジャンルのリユースに取り組んでまいりました。

今後も引き続き『ものを捨てたくない人が、捨てない生活をするためのインフラとしての役割を果たすブックオフ』＝『捨てない人のブックオフ』を事業ミッションとして、様々な形のリユース事業を通して循環型社会の実現に取り組んでまいります。

捨てない生活をする人のためのインフラとなるために、宅本便（宅配便を利用して買取ができるシステム）や、出張買取（店舗のスタッフが自宅まで買取に向うサービス）等、従来から買取チャネルを増やしておりました。更に最大の買取チャネルである店舗では、サービスレベルを向上させるためにサービス基準マニュアルを導入し、従来の若者から中高年へと顧客層を拡大することでインフラとなっていくことを目指しております。

当第1四半期連結累計期間のグループ直営店舗の出店はブックオフ事業6店舗、キッズ・婦人服事業2店舗、TSUTAYA事業1店舗、その他事業8店舗となりました。なお、「中古劇場」としての出店は2館となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高16,914百万円（前年同期比30.3%増）営業利益588百万円（前年同期比161.2%増）経常利益681百万円（前年同期比153.0%増）四半期純利益168百万円（前年同期比-%（純損失86百万円））となりました。

売上高が前年に比べ大幅に伸長した要因は、仕入の向上を背景にブックオフ事業の既存店の売上が継続して伸びていること、昨年出店したリユース業態（キッズ・婦人服事業）（その他事業）やオンライン事業の売上が堅調に伸びていること、また前連結会計年度中に連結子会社化した株式会社ワイシーシーと青山ブックセンター株式会社の売上が加算されたことによるものです。

営業利益、経常利益が前年に比べ大幅に伸長した要因は、各事業にて売上が堅調に伸びていること、前連結会計年度中にBOOKOFF直営店全店に導入した買取用簡易査定端末（PDA）の使用等により生産性が向上したこと、パート・アルバイトの採用コスト低減、出店コスト削減など経費削減を図ったことによるものです。

なお、当期計画は、当第1四半期連結会計期間中に出店を集中させたため前年同期と同水準の利益を計画しておりましたが、既存店、新店ともに業績が好調であったため、利益実績が計画を大きく上回る結果となりました。

各セグメント別の売上状況は以下のとおりです。

（ブックオフ事業）

当セグメント第1四半期連結累計期間業績は、売上高11,633百万円（前年同期比11.2%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間の出店は移管受管を含め、グループ直営店6店舗、FC加盟店6店舗となりました（閉店はグループ直営店3店舗、FC加盟店5店舗）。このうち「中古劇場」内への出店は2店舗となります。

ゲームソフトなどの単価の高い商品の販売構成比が高まったことによる客単価の増加に加えて、客数も継続して増加しているために好調な売上は継続しております。これらの結果当第1四半期連結累計期間の既存店売上高前年比は6.4%増という結果となり、大幅に前年同期を上回る結果となりました。

また、オンライン事業も月商200百万円達成と堅調に売上を伸ばし、当セグメントの増収要因となりました。

（キッズ・婦人服事業）

当セグメント第1四半期連結累計期間業績は、売上高952百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間の出店は、グループ直営店2店舗となりました（閉店はグループ直営店1店舗）。このうち「中古劇場」内への出店は2店舗となります。

当セグメント業態の既存店は売上・客数共に堅調に伸びております。加えて「中古劇場」に出店した店舗の売上が寄与したことで前年同期を上回りました。

（TSUTAYA事業）

当セグメント第1四半期連結累計期間業績は、売上高2,577百万円（前年同期比321.0%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間の出店は、1店舗となりました。

売上は、前第2四半期連結会計期間末に連結子会社となった株式会社ワイシーシーの売上（1,953百万円）が寄与したことにより、前年同期を大幅に上回りました。

（その他事業）

当セグメント第1四半期連結累計期間業績は、売上高1,751百万円（前年同期比72.4%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間の出店は、グループ直営店8店舗となりました。このうち「中古劇場」内への出店は5店舗となります。

当セグメント業態の既存店は売上・客数共に堅調に伸びております。また「中古劇場」内へ、スポーツ用品、貴金属、ホビーなど様々なジャンルの店舗を出店したことに加え、前第3四半期会計期間に連結子会社となった青山ブックセンター株式会社の売上（571百万円）が寄与したことにより、前年同期を大幅に上回りました。

(参考情報：セグメント別四半期実績)

(単位：百万円)

四半期別セグメント推移	平成22年3月期 第1四半期 会計期間実績	
		前年 同期比
売上高	16,914	30.3%
ブックオフ事業	11,633	11.2%
キッズ・婦人服事業	952	6.8%
TSUTAYA事業	2,577	321.0%
その他事業	1,751	72.4%
営業利益	588	161.2%
経常利益	681	153.0%

四半期別セグメント推移	平成21年3月期 第1四半期 (4～6月)		平成21年3月期 第2四半期 (7～9月)		平成21年3月期 第3四半期 (10～12月)		平成21年3月期 第4四半期 (1～3月)	
		前年 同期比		前年 同期比		前年 同期比		前年 同期比
売上高	12,979	10.3%	13,527	6.3%	16,528	30.9%	17,457	30.6%
ブックオフ事業	10,459	9.4%	11,088	4.5%	11,197	11.6%	11,988	10.3%
キッズ・婦人服事業	891	0.7%	791	5.1%	1,089	5.4%	831	-7.2%
TSUTAYA事業	612	62.4%	599	40.0%	2,789	611.9%	2,662	585.8%
その他事業	1,015	7.2%	1,049	11.7%	1,450	25.0%	1,975	63.6%
営業利益	225	-56.6%	173	-74.2%	729	-%	1,307	5.5%
経常利益	269	-50.0%	223	-68.8%	770	-%	1,408	9.5%

※ 当「四半期別セグメント推移」の表は、累計期間損益から前四半期累計期間損益を減算した数値であり、会計期間損益とは異なる場合があります。

なお、当表に関しては監査法人の四半期レビューを受けたものではありません。

(参考情報：セグメント別出退店)

(単位：店)

平成22年3月期		第1四半期		累計	
		出店	退店	出店	退店
ブックオフ事業	グループ	6	3	6	3
	FC加盟店	6	5	6	5
キッズ・婦人服事業	グループ	2	1	2	1
	FC加盟店	0	0	0	0
TSUTAYA事業	グループ	1	0	1	0
	FC加盟店	-	-	-	-
その他事業	グループ	8	0	8	0
	FC加盟店	0	0	0	0
出退店合計	グループ	17	4	17	4
	FC加盟店	6	5	6	5
期末店舗数	グループ	484			
	FC加盟店	623			

平成21年3月期		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		累計	
		出店	退店	出店	退店	出店	退店	出店	退店	出店	退店
ブックオフ事業	グループ	8	3	2	4	5	1	1	1	16	9
	FC加盟店	8	9	7	3	11	6	4	4	30	22
キッズ・婦人服事業	グループ	3	1	0	5	1	1	1	0	4	7
	FC加盟店	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
TSUTAYA事業	グループ	1	0	23	0	0	0	0	0	23	0
	FC加盟店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他事業	グループ	7	4	3	0	14	0	0	4	26	8
	FC加盟店	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
出退店合計	グループ	19	8	28	9	20	2	2	5	69	24
	FC加盟店	8	9	7	3	11	6	4	4	30	22
期末店舗数	グループ	437		456		474		471			
	FC加盟店	613		617		622		622			

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①当第1四半期連結会計期間末における資産・負債・純資産の状況

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は16,905百万円（前連結会計年度末は16,606百万円）となり、299百万円増加しました。売上の増加による現金及び預金が366百万円増加したことが主な要因です。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は18,140百万円（前連結会計年度末は18,091百万円）となり、49百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債残高は23,324百万円（前連結会計年度末は22,883百万円）となり、440百万円増加しました。配当金、法人税等の決算資金の支払等を短期借入金で対応したため長短借入金を636百万円増やしたことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産残高は11,722百万円（前連結会計年度末は11,813百万円）となり、90百万円減少しました。配当金の支払い等により利益剰余金が152百万円減少したことが主な要因です。純資産は減少したものの、資産の圧縮により自己資本比率は33.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ365百万円増加し、4,678百万円となりました。内訳としては営業活動によるキャッシュ・フローは743百万円、投資活動によるキャッシュ・フローはマイナス428百万円、財務活動によるキャッシュ・フローは57百万円でした。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は743百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益430百万円に加え、減価償却費442百万円が増加したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は428百万円となりました。これは主に新店出店に伴う有形固定資産の取得71百万円及び保証金の差入128百万円や店舗譲受などその他の支出325百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、資金は57百万円増加となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第1四半期連結累計期間の売上、営業利益、経常利益は計画を上回って推移しました。しかしながら第1四半期の段階であること、第4四半期の利益比重が大きいことなどを考慮し、平成21年5月20日に発表した公表数値に変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

以下の簡便な会計処理を適用しております。

固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している場合に、連結会計年度に係る減価償却費の予定額を期間按分して算定する方法を適用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,806,850	4,439,996
受取手形及び売掛金	1,290,011	1,070,341
商品	8,779,007	8,930,854
その他	2,032,249	2,166,805
貸倒引当金	△2,201	△1,902
流動資産合計	16,905,917	16,606,095
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,746,116	4,885,135
リース資産(純額)	642,345	532,995
その他(純額)	801,518	807,389
有形固定資産合計	6,189,980	6,225,520
無形固定資産		
のれん	1,152,494	1,187,834
その他	721,723	774,953
無形固定資産合計	1,874,218	1,962,788
投資その他の資産		
差入保証金	8,024,646	8,030,826
その他	2,142,885	1,954,114
貸倒引当金	△90,751	△82,184
投資その他の資産合計	10,076,780	9,902,755
固定資産合計	18,140,979	18,091,064
資産合計	35,046,896	34,697,160

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,374,566	1,268,596
短期借入金	7,299,300	6,018,800
1年内返済予定の長期借入金	2,387,628	2,772,238
リース債務	231,846	189,499
未払法人税等	208,918	363,279
賞与引当金	130,617	374,932
店舗閉鎖損失引当金	159,141	55,282
その他	3,249,381	3,300,513
流動負債合計	15,041,399	14,343,142
固定負債		
長期借入金	5,838,023	6,097,815
リース債務	489,063	409,854
負ののれん	234,129	257,542
その他	1,721,472	1,775,221
固定負債合計	8,282,689	8,540,433
負債合計	23,324,089	22,883,575
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,564,294	2,552,294
資本剰余金	2,758,083	2,746,083
利益剰余金	6,933,948	7,086,237
自己株式	△738,822	△738,822
株主資本合計	11,517,502	11,645,791
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	97,506	54,887
為替換算調整勘定	△46,503	△41,555
評価・換算差額等合計	51,003	13,331
少数株主持分	154,301	154,462
純資産合計	11,722,807	11,813,584
負債純資産合計	35,046,896	34,697,160

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	12,979,656	16,914,427
売上原価	4,812,044	7,212,157
売上総利益	8,167,611	9,702,269
販売費及び一般管理費	7,942,291	9,113,793
営業利益	225,320	588,476
営業外収益		
持分法による投資利益	1,561	2,621
自動販売機等設置料収入	39,007	50,508
古紙等リサイクル収入	33,350	14,228
負ののれん償却額	—	23,412
その他	42,791	92,691
営業外収益合計	116,711	183,462
営業外費用		
支払利息	47,464	60,443
その他	25,221	30,031
営業外費用合計	72,685	90,475
経常利益	269,345	681,463
特別利益		
貸倒引当金戻入額	9,251	—
特別利益合計	9,251	—
特別損失		
投資有価証券評価損	256,000	—
店舗閉鎖損失	29,670	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	31,050	137,735
固定資産除却損	3,231	1,677
減損損失	10,584	98,692
固定資産臨時償却費	—	13,168
特別損失合計	330,536	251,273
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△51,939	430,189
法人税、住民税及び事業税	26,958	161,867
法人税等調整額	6,070	94,991
法人税等合計	33,028	256,859
少数株主利益	1,554	4,526
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△86,523	168,804

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△51,939	430,189
減価償却費	364,262	442,096
減損損失	10,584	98,692
固定資産臨時償却費	—	13,168
負ののれん償却額	—	△23,412
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9,251	8,865
賞与引当金の増減額(△は減少)	△251,045	△244,315
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△6,453	103,859
支払利息	47,464	60,443
持分法による投資損益(△は益)	△1,561	△2,621
店舗閉鎖損失	29,670	—
固定資産除却損	3,231	1,677
投資有価証券評価損益(△は益)	256,000	—
売上債権の増減額(△は増加)	14,149	△220,419
たな卸資産の増減額(△は増加)	△102,218	159,169
仕入債務の増減額(△は減少)	349,422	105,852
未払金の増減額(△は減少)	△123,911	△57,372
その他	△32,206	160,150
小計	496,197	1,036,023
利息及び配当金の受取額	4,162	4,551
利息の支払額	△45,611	△58,720
法人税等の支払額	△791,098	△272,152
法人税等の還付額	—	33,612
営業活動によるキャッシュ・フロー	△336,349	743,315
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△52,692	△50,313
定期預金の払戻による収入	62,132	50,252
有形固定資産の取得による支出	△141,288	△71,308
無形固定資産の取得による支出	△173,099	—
差入保証金の差入による支出	△356,371	△128,778
差入保証金の回収による収入	37,218	96,502
その他	133,154	△325,183
投資活動によるキャッシュ・フロー	△490,947	△428,828

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,900,000	—
短期借入金の返済による支出	△1,168,333	—
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	1,280,500
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△612,446	△644,402
長期未払金の返済による支出	△241,837	△227,097
リース債務の返済による支出	—	△53,684
株式の発行による収入	7,200	24,000
自己株式の取得による支出	△15	—
配当金の支払額	△320,241	△321,968
財務活動によるキャッシュ・フロー	64,326	57,346
現金及び現金同等物に係る換算差額	287	△6,652
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△762,683	365,181
現金及び現金同等物の期首残高	4,463,073	4,313,790
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	18,689	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,719,079	4,678,971

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

	ブックオフ事業 (千円)	キッズ・婦人 服事業 (千円)	TSUTAYA事業 (千円)	その他事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	10,459,777	891,825	612,284	1,015,768	12,979,656	—	12,979,656
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	3,737	3,737	△3,737	—
計	10,459,777	891,825	612,284	1,019,505	12,983,393	△3,737	12,979,656
営業利益(△営業損失)	713,395	39,528	25,669	△72,335	706,257	△480,937	225,320

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	ブックオフ事業 (千円)	キッズ・婦人 服事業 (千円)	TSUTAYA事業 (千円)	その他事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	11,633,205	952,353	2,577,570	1,751,297	16,914,427	—	16,914,427
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	9,061	8	—	28	9,097	△9,097	—
計	11,642,266	952,362	2,577,570	1,751,325	16,923,524	△9,097	16,914,427
営業利益(△営業損失)	1,046,020	49,873	34,833	△101,346	1,029,379	△440,903	588,476

(注) 1. 事業区分は、グループ内の事業展開を基準として区分しております。

2. 各事業区分に属する主要な事業の内容

(1) ブックオフ事業

中古書籍・中古ソフト等のリユースショップ「BOOKOFF」のチェーン展開

(2) キッズ・婦人服事業

玩具、子供服等の子供用品のリユースショップ「B・KIDS」及び婦人服のリユースショップ「B・STYLE」のチェーン展開等

(3) TSUTAYA事業

TSUTAYA加盟店として、ビデオレンタル、新刊書籍の仕入販売、CD・DVDの仕入販売等を行う店舗の運営

(4) その他事業

新刊書籍の販売を行う「青山ブックセンター」及び「流水書房」の店舗の運営、中古スポーツ用品のリユースショップ「B・SPORTS」店舗のチェーン展開等

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。